

はじめよう



若い人は男女共同参画をどう考えているのか

7月の参議院選挙から選挙権が18歳に引き下げられました。選挙制度改革は1945年に女性に参政権が認められて以来70年ぶりのことです。

男女共同参画情報紙「はじめよう」では、18歳、19歳の若者に注目してみました。これからの担い手である若者は、男女共同参画についてどんな考えを持っているのでしょうか。6名の方にいろいろ話して頂きました。

出席者 石川さん (19歳)・・・社会人
稲垣さん (19歳)・・・社会人
鎌木さん (18歳)・・・大学生
須藤さん (18歳)・・・高校生
宅和さん (18歳)・・・大学生
緑川さん (18歳)・・・高校生

(五十音順・以下敬称略)

司会 武井 由紀子 (編集委員長)

司会 お忙しい時に集まって頂きありがとうございます。皆さんにはあらかじめ話し合いのテーマを送っていただきましたので、それぞれの意見を順にお話頂きたいと思います。最初に、**家庭で男女差を感じることはありますか。**

稲垣 子育てに関して、男も女も同じだと思うのでイクメンと騒がれることに疑問を感じます。

須藤 私も同じ考えです。家事も育児もどちらがしてもいいと思うので、男性が家事や育児をすることを、そんなに褒めなくてもいいと思います。

石川 家庭では差は感じられません。

緑川 私のうちでも男女差は感じません。

宅和 うちでは、母が遅い時には父が家事をします。差といえば、力仕事は父がするというくらいです。

鎌木 家庭で感じることはないけど、結婚年齢が男性は18歳、女性が16歳からっていうのも差かなと思うのですがなぜなのでしょう。

宅和 男性は18歳で学校を卒業し、職に就いて仕事をするので家族を養っていける年齢で、女性は、職に就かなくても、家で家事をしていればいいので16歳なのかなと思います。

鎌木 男子の方が精神年齢が2～3歳低いから18歳と16歳にしたんじゃないですか。

司会 **学校や職場で男女差を感じることはありますか。**

石川 運動が苦手だったので、中学でのマラソンで男子の方が長い距離を走ることが疑問に思いました。職場での服装では、男性より女性の方がおしゃれで自由だと思います。

須藤 7月まで留学をしていたカナダでは、男と女というより一人の人間として見ていました。

緑川 今のクラスには男子が1人、女子が30人なんですが、男女差はなくうまくいっています。

鎌木 小・中学校のことを考えると、怒られるのは男子が多かった。女子高校は全て自分たちでやっていたのですが、大学にいくと男子がガンガン出てくるのにギャップを感じた。サークルでバーベキューの時、男子は炭おこし、女子は野菜を切るとか役割が決められる。炭おこしは上手にできるけど、黙って野菜を切っていました。

宅和 女子が2%しかいない学科だけど男女差は感じない。食事会でも男子が料理をしています。

稲垣 仕事内容も分けているものはないので、同じように働いています。



司会 地域や社会で男女差を感じることはありますか。

須藤 女性が議員や社長とかになると女性○○とかつけるけど、男性にはつけたりしないのだから、同じくつけなくてもいいのじゃないかなと思います。

緑川 授業でマタハラの勉強をしたのですが、自分が結婚したり、妊娠した時にそういうことになったら嫌だなと思いました。

鏑木 女性初とかにあこがれる。私は、体力的にも精神的にも男性にかなわないと思っているのですが、そんな男性に勝つってすごくないですか。

宅和 学校のPTA役員とかは、小学校の時はお母さんがやっていたけど、高校になるとお父さんがやっているのってなんでだろうと思った。それが男女差かなと思いました。

司会 その他全般で男女差を感じることはある？

宅和 女子はもっとまじめかと思ったとか言って、女子にはまじめであってほしいと思っている。

鏑木 男子は、女性はきれいで料理ができるとかの固定観念を持っている。重いものは持つし、危ないこともしてくれる。女子もできるけどね。

石川 男性には、女性を守ってあげないといけないという思いがあります。多分男子はかっこつきたいんだと思います。

稲垣 男女でペアを組んで仕事をしているので、業務に対しても相談しあっています。私たちの職場は男女共同参画は進んでいると思います。



司会 次に、選挙権が18歳に引き下げられたことについてどう思いますか。桐生市の18歳の投票率は44%と全国平均51%を下回ったのですが、皆さんは行きましたか。

全員 行きました。

緑川 立候補者のマニフェストは高齢者向けが多いが、奨学金の問題や年金のことで私たちが考えなければならぬことがあります。年齢を引き下げて、選挙する若者が増えるのはいいことなので、何も変わらないからと棄権するのではなく行って欲しい。

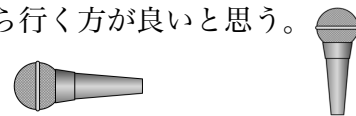
鏑木 選挙には興味があつて面白かつたけど、高校で勉強していたよりずっとあつさりしていました。もっと政治の勉強をする必要があると感じました。

宅和 18歳で選挙権を得て選挙することで、大人になる準備ができると思いました。どんな大人になるかを考えられるので18歳に引き下げられた事は良かったと思う。

稲垣 期日前投票の事務もしました。18歳と思われる子が、戸惑いながら投票していたのが印象的でした。

石川 選挙権が下がることは若い人の意見が反映されていていいと思います。自分もそうでしたが、勉強しないで行ってわからないまま投票してしまい、もっと事前に勉強して行く方がいいと思いました。

須藤 社会に出る前に自分の意見を投票できるのはいいけど、世界的な選挙年齢に流されて18歳に下げたのであれば、まだ日本の若い人は選挙に関心が薄いと思います。一人ひとりがもっと選挙について学んでから行く方が良くと思う。



司会 今、みなさんがもっと勉強していくべきだと言ってきましたが、選挙管理委員会から出ている選挙広報や街頭演説にも注目することも必要ですね。みんなは今回の参議院選挙でどんなことを基準に投票しましたか。

鏑木 地元にはないのでインターネットで調べていいなと思う人に入れました。

宅和 人ではなく党の政策で入れました。

稲垣 自分の理想に近い人を選びました。

石川 書いてあるものを読んでなんとなく投票したが、今後はその人の持っているものをしっかり見て投票していきたいと思っています。

緑川 ニュースを見たり家族で話したり、党の政策などを見て決めました。

鏑木 半分くらいの方は投票に行かないけれどもどうしたら行くんでしょね。

石川 投票所に行かないと出来ないというのも理由かと思っています。

須藤 政策とかもよくわからないから行かないと言ってたクラスの子もいました。

宅和 白票も意思表示だと思う。投票率にはカウントされるので行った方がいいと思います。

司会 次は、**国や地方政策・方針決定に関わる公職に女性が少ないことについてどう思いますか。** 先日は、小池百合子さんが初の女性都知事に選ばれましたね。

籾木 これからどんどん管理職や公職に就く女性が増えていくと思うけど、一般の働く女性やシングルマザーなどの政策をもっと充実させていく必要があると思います。

宅和 管理職とかは一般には男性が多い。女性のトップは他の国でも少ないが、女性になると女性にしか見られない視点があるので、もっといい社会に変わっていくと思う。

稲垣 国政などでも女性に対する方針を男性議員が述べているが、女性自身をもっと国政等を目指して活躍すると思います。

石川 女性でないとうからないこともあるので、女性の意見を取り入れるには、もっと多くの女性が国政参加していけばいいと思います。

須藤 国会とかの議員には男性が多く、その圧力が強く女性が入っていけない世界だと思う。男性を選ぶにしても、もっと女性の活躍に理解のある男性議員を選ぶべきだと思います。

緑川 男性政治家が圧倒的に多く、女性の人権を侵害する発言もテレビで見たりする。保育園を増やすというような意見も女性が発言することによって信憑性が増すと思うので、女性がもっと政治に進出するべきだと思います。



司会 女性国会議員が多い北欧などでは、クオータ制で女性議員の比率が決まっています。世の中は男性と女性がほぼ半々いるわけですから国政に女性も半分くらいいることが望ましいですね。

籾木 日本では、男性、女性についての固定観念が昔からあり、変えられないと思います。

須藤 固定観念を取り払う努力をしていかないと男女差は無くなっていかないとと思うので、私たちが固定観念をかえて行かなければならないと思います。

緑川 60代や70代以上の人は男尊女卑の固定観念が強いし、そういう人たちが公職に就いていますが、今の若者はそんなふうに考えていないと思います。

稲垣 今回の女性都知事は大きかったと思う。ちょうど選挙制度が18歳からの選挙権に変わった時だけに18歳、19歳の考え方も変わってくると思う。これからは徐々にですが、変わっていくと思います。

石川 今は上に立っているのが男性で、すぐ変わるの難しいが、徐々に変わると思います。



司会 最後になりますが、**将来どんな社会になってほしいと思いますか。**

宅和 今大学で、工学系の勉強しています。技術を武器に会社で戦えるようなキャリアを積みたいのです。子供が預けられないから働けないとか言うのは嫌なので、そういうところの法整備がされている社会を望みます。

稲垣 自分が女性なので女性目線で見ているのですが、世の中を男性目線で見ると女性車両とか他のことでも男性が生き苦しい社会になりつつあることも考えていった方がいいのかと思いました。

石川 最近、女性が優遇されている感があるのですが、平等になったらいいなと思います。

須藤 今は、男性で女性になりたい人や、女性で男性になりたい人もいます。私の友だちにもいますけど、そういう人も一個人として生きやすい社会、人がそれぞれに生きやすい、生活しやすい社会になってほしいと思います。

緑川 起業したいと思うので、これから経営学を学びたいと思っています。女性の発想と男性の発想がうまく融合して、互いに支え合える社会が築かれるべきだと思います。

籾木 男性だからとか女性だからという固定観念はなくしてほしい。そんな理由で差別されたくない。やりたいことを思う存分、お金とかを心配しないでできる社会になってほしい。

編集委員 深沢 皆さんは自分の夢とか、やりたいことはありますか。

宅和 車とか飛行機が好きなのでエンジン開発とかがしたい。

鏑木 国際的な分野に進みたい。世界に羽ばたいて活躍できる人になりたい。

稲垣 市役所で働いているのですが、市民から相談を受けることも多く、もっと大人の考えで対応できるようになりたい。

石川 今の部署は業者の方との関わりの仕事ですが、市の行事とかの仕事もゆくゆくはしていきたい。市のために働きたい。

須藤 具体的な職業はないのですが、子供を産んでもちゃんと生きて行けるような仕事に就きたい。

緑川 外国の方が楽しく観光できるとか、外国人がより住みやすくなるようなことを、日本に住んでいる外国の方とやっていきたい。そして、日本の良さを世界に発信できるようになりたい。

司会 多くの素晴らしい意見ありがとうございました。皆さんの夢が叶えられるような社会になることを期待したいと思います。

座談会には出席できませんでしたが、こんな意見も寄せられました。

小澤さん（19歳）・・・大学生

将来の日本は、自分たち若い世代が変えてゆくものだから、願うのではなく、現代の社会を本来の意味での平等を意識し、行動を心掛けたと思います。

井上さん（20歳）・・・社会人

過去には「男尊女卑」という言葉が出来るほど男性と女性の間には社会・家庭的に格差がありました。現在でも女性の社会進出は拡大しましたが、結婚や出産を期に退職される方がいるのも事実です。しかし、女性に限定されるサービスや男性の立場が弱くなることもあります。女性専用車両など知らなかったが故に肩身の狭い思いもすることもあるかと。性別によって分類しやすいのは確かですが、過剰なまでに性別で分けるのは男女平等とは言えないのではと思います。

若い方の意見を聞いて 編集委員はこう考える。

18歳・19歳の若い方の意見を身近に聞くことができ、新鮮でした。自分が想像していたよりずっと男女平等の認識が強く、この世代が世の中の中心になる頃、今の世間と逆転して、女性が主導権を握っていたりするのかなと感じました。
長尾 洋子

6人と言う限られた参加者でしたが、断片的でもしっかりと物申す若者層の男女観に触れたおもしろい体験から来る意見と言うには浅いですが、肌や空気から感じ取るシャープな若い意見には私達大人も聴く耳を持ち続けたいと再確認しました。
金子 雅子

男女共同参画について10代の皆様の貴重な意見を伺い、国際的な話や教育・職業を含め夢や希望に満ちた言葉に、日本がより良い社会となるよう私達大人がお手本になるよう生きなければと思うほど、素晴らしい意見を伺えました。
小澤 笑子

10代の皆さんの発言は、これから人生を開いていこうとする明るく力強いものがみうけられ、頼もしさを感じました。男女間や人と人との違い、個性を考えることが増えるかもしれませんね。一緒に勉強していきましょう。
深沢 秀子

今回の座談会には男性の方が少なかったため、女性からの意見が多く聞かれましたが、若い世代の人たちの中では男女平等という事が日常のさまざまな状況においても自然な形で浸透しているのだなと感じました。
周家 永花

18歳・19歳は子供か？大人か？、選挙権年齢が引き下げられた事で、大人と同じ権利が与えられました。そのことで社会を変えていく事もできます。今回、出たような意見を社会に発信する事も大事なことで、私たちは偏見なく聞くべきだと思います。
武井 由紀子

編集後記

男女共同参画社会も進みつつある現在ですが、老若共同参画という言葉を使っていた方がおり、心に残りまして。年をとった方も若い方も一緒に社会を作っていく、まさに今かなと思います。

若い人の考えに注目した今回、大人が思っている以上にきちんと考えていると感じました。